

市民のひろば



☎857-8585(住所不要) 市役所秘書課広報係(☎1111)
Eメール hishok@city.sasebo.nagasaki.jp

おたよりコーナー

広報させば1月号を読んで
(新行江町・小野谷 祥子さん)

広報させばは、日ごろ目や耳に入らない情報を一度に知ることができ、毎月楽しみにしています。

成人式は昔は15日と決まっていたし、「やはり15日がいいね」という人も多いようです。私たちが成人式を迎えた当時のことを、毎年思い出しますが、それもだんだんと夢のなたに感じられます。

また、ハウステンボスが「させば三景」に決定されたと知り、うれしく思います。落ち着いた街並みや、森から聞こえる小鳥のさえずりには、心がいやされます。もっとたくさんの市民の皆さんが利用されるように願っています。現実からちょっと離れた気分になれるハウステンボスの街が、私は大好きです。

(広報係から)

小野谷さんと電話でお話したところ、ハウステンボスのオープン当初からたびたび利用されていて、広い園内を、バスには乗らず、歩きながら異国情緒を楽しまれているそうです。「これからの季節は花がきれいで、ウォーキングも気持ちいいですよ」とのことでした。

おたよりありがとうございました。

これってどんな意味

市内の施設などにカタカナの名称が増えていますが、名前の由来や意味を知りたいというご意見を頂きましたので、一部をご紹介します。

「フレスタ SASEBO」の名前の由来は？

JR九州が昨年11月、佐世保駅前にオープンした複合商業施設で、「親しみのある」という英語(FRIENDLY)と、「駅」という英語(STATION)

を合成した言葉(フレスタ SASEBO)です。JR九州内の中規模ビルにこの名称が使われていて、ほかにフレスタ南福岡やフレスタかごしま、などがあります。



行政用語やカタカナ用語で、「耳にはするが、よくわからない」という言葉があれば、お寄せください。

広報クイズ

はがきに答えと住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙へのご意見を書いて、2月23日必着でどうぞ。

問題① 「こども○○クラブ」は、小・中学生が集まって、環境についての活動をするクラブです。



問題② JR佐世保駅前に現在整備中の2つの広場は、平成○○年末に完成予定です。

問題③ 2月は、西海○○○シーセンターの市民無料招待月間です(広報させば2月号持参)。



※前回の答えは、「はつうり」でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

全問正解者の中から抽選で、5人に図書券を差し上げます。紙面の都合上、発表は発送をもって代えさせていただきます。

歴史散歩

帝釈天の碑

451

(南風崎町)

JR大村線南風崎トンネル南口に「帝釈天王日朗菩薩」の石碑があります。明治36(1903)年の建立で、当時の人たちが庚申信仰に帰依し、有志の集まりの講中で、延命招福を願う本尊として帝釈天の碑を建てたのです。「帝釈天」は映画「男はつらいよ」シリーズの主人公寅さんのふるさと・東京都葛飾区柴又にある日蓮宗経栄山題教寺の本尊です。

「板本尊」と呼ばれる帝釈天は、宗祖日蓮上人の手彫りと伝えられ、江戸時代中期に一時行方不明になりました。ところが、安永8(1779)年春の庚申の日、本堂修復中に見つかりました。さらに4年後の天明3



(1783)年、飢饉と疫病に見舞われた江戸の人々を救おうと、第9代日敬が板本尊を背負って町に出、一粒符という厄除けを配ったところ靈験あらたかだったので、以後庚申信仰の本尊として帝釈天が全国に広まったのです。

庚申信仰は、60日ごとにめぐってくる干支の庚申の日に、体内にいる三戸の虫が、人が眠ると抜け出して、天帝にその人の悪事を告げるので寿命が縮むというものです。日本では仏教に結びつき、講をつくってみんなで飲食しながら夜を明かしました。講は女人講、観音講、二十三夜講などです。

南風崎は、昭和初年まで早岐瀬戸を行き来する近海航路の宿場で、宿屋や精米所などがあり、にぎわっていました。(筒井隆義)

